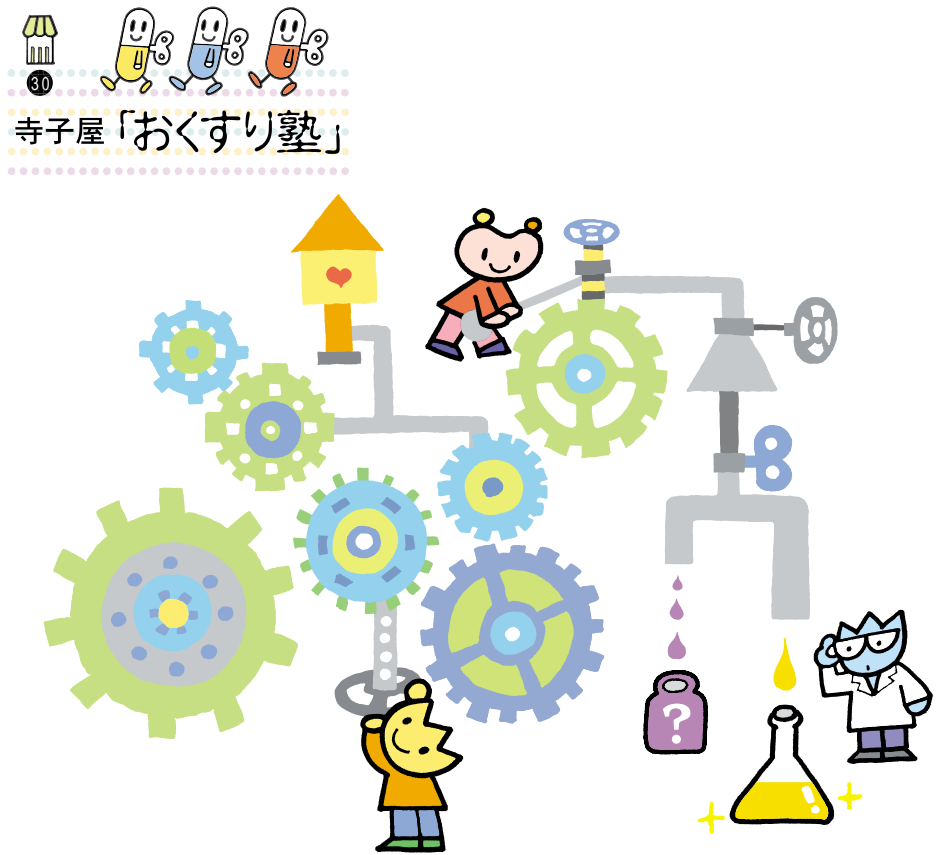


副作用を正しく理解しよう

「事前に事故は防げたはず！」世の中、そんな事例がたくさんあります。エレベーター事故、シユレツターによる手指の切断事故など、本来、生活を便利にする物が一転して凶器となりえます。薬も同じで、それが「薬も過ぎれば毒となる」と言われるゆえんです。



副作用とは？

薬には、本来その薬が目的として
いる治療効果を期待する作用(主
作用)と、それ以外の人体にとって望
ましくない副次的な作用、すなわち
副作用があります。副作用という用
語は、一般的に好ましくない有害な
作用を指すケースが多いのですが、
なかには治療に用いられるような好
ましい作用も含むことがあります。
ここでは副作用=有害反応、有害事
象として取り扱っていきます。

有害反応とは、医薬品の投与によ
つてもたらされた、有害で意図しな
い生体の反応で、医薬品との因果関
係が否定できないものです。WHO
(世界保健機関)では、疾病の予防、
診断、治療、または生理機能を正常
にする目的で医薬品を投与したと
き、人体に通常使用される量によつ
て発現する、有害かつ予期しない反
応」と定義しています。一方、有害
事象とは、医薬品の投与中に発現し
た、有害で意図しないあらゆる生体

の反応を指し、医薬品との因果関係
が不明な場合も含まれます。
副作用が起きる要因を分類する
と、大きく次の3つに分けられます。

- 1 薬剤そのものの性質により起る場合
- 2 薬の使い方が正しくなかったために起こる場合
- 3 患者の体質(薬物過敏症など)によって起こる場合

このなかで、薬物過敏症はあらゆる種類の薬で、投与量や投与期間に関係なく現れる可能性があり、予測や見極めが難しいうえに、即時投与中止などの早急な対応が必要になることがあります。副作用の症状も胃腸症状、眠気、頭痛などの比較的軽いものから、発疹、シヨク、血液障害、肝障害、腎障害、精神障害など、重い症状を現すものまであり、薬の種類や用法・用量、治療時の患者の状態(人種、性別、年齢、病状、遺伝的素因、履歴など)によっても症状は異なります。

患者さんが薬をもらう時に 知りたい情報

- 1、効き目 84%
- 2、副作用 70%

一般市民の医薬品および医療に関する意識調査より
くすりの適正使用協議会(2006年1月)

集はもろろん、より有効な情報の基
盤を整備する目的も兼ねて、〇三年
以降毎年行われています。

お願い

現在流通している医薬品はすべ
て、さまざまな臨床試験を経て、有
用性・安全性が確認されています
が、それでも副作用などのリスクを
避けることはできません。しかし、副
作用の発生を恐れるあまり、自己判
断で薬の服用を中止することは、本
来の治療ができなくなり、かえって
危険が増すこととなります。

医師、薬剤師は、蓄積された副作
用情報を整理し、薬剤を冷静に見
る目を持ち、確かな情報提供や指
導ができる態勢を整えています。副
作用について関心を持った方は、医師
や薬剤師に気軽に相談ください。

(シオン薬局 木村 勝)

調査結果を見ると、薬の効き目に
次いで副作用に対する関心が高く、
患者さんの求める情報が、最新の安
全管理情報”に”向いていることが推
察できます。

医薬品の適正使用に向けて

現在は医薬品開発における実験
基準が整備されていますが、一九六
一年当時は未整備な部分が多く、
その技術水準や制度では防止し得
なかったため、痛ましい事件が起き
ました。いわゆる薬害の発端となつ
たサリドマイド事件は、睡眠薬の「サ
リドマイド」が妊娠初期のつわりの
ある妊婦に服用され、四肢の一部が
短いなどの独特の奇形(あざらし肢
症)をもつ新生児が生まれた事件で
す。米国FDA(医薬食品局)では、
この医薬品を認可せず、奇形が指摘
された西ドイツ(当時)では警告や回

収措置が実施されました。しかし、
日本ではこれらの事例を無視して販
売し続け、回収措置がとられるまで
の約半年間に被害児の半分が出生
したと推定されています。この事件
をきっかけに国際的に医薬品の安全
確保対策の必要性が高まりました。
さらに記憶に新しいのが、九三年の
ソリブジン事件です。これは抗ウイル
ス剤のソリブジンと抗ガン剤のフルオ
ロウシールを併用した結果、十余名
の死亡例がでた事件です。この事件
では製造販売業者の調査不十分が
指摘され、特に発売直後に発生した
ために、市販直後の安全性対策の重
要性がクローズアップされました。

これらの事件がきっかけとなり、
市販直後の副作用発生に迅速に対
応するため九七年に、医薬品市販
後調査の基準”が法制化、二〇〇一
年には、医薬品製造販売業者に対

して市販直後調査が義務づけられ
ました。さらに、〇五年には基準が
変更され、医薬品以外の医薬部外
品、化粧品、医療機器まで拡大され
ています。そうすることで市販前に
発見されなかった未知の副作用や、
すでに知られている副作用の発生状
況が明らかになることもあるよう
です。

薬局を含めた医療機関に対して
も、現在は薬事法によつて副作用の
報告(医薬品安全性情報報告)が義
務づけられ、医薬品や医療用具によ
る健康被害から国民を守るために、
さまざまな取り組みがなされていま
す。薬局で行われている取り組みの
一つに、DEM薬剤イベントマトリ
ングがあります。これはある特定の
薬剤に起こり得る副作用について、
全国の薬局を対象に組織的に調査
を実施するもので、副作用情報の収

基準薬局リスト

大仙市

大曲調剤薬局	☎0187-66-2688	☎66-2918
大曲みよし薬局	☎0187-63-4440	☎63-4441
オオミ薬局	☎0187-62-0322	☎62-7221
おやま薬局	☎0187-62-7122	☎62-7123
上大町薬局	☎0187-86-0838	☎66-2886
黒瀬薬局	☎0187-63-4078	☎63-4031
こまち調剤薬局	☎0187-86-0363	☎86-0364
こまち調剤薬局太田店	☎0187-86-9070	☎86-9071
下山サカ工業局	☎0187-62-5110	☎62-6431
下山薬局黒瀬店	☎0187-63-2818	☎63-2813
下山薬局サンロード店	☎0187-62-0481	☎62-7083
下山薬局福住店	☎0187-63-8008	☎63-8007
下山薬局本店	☎0187-63-8011	☎62-6943
全快堂薬局	☎0187-74-3030	☎74-3033
仙北調剤薬局	☎0187-63-5880	☎63-5899
たいよう薬局	☎0187-63-9200	☎63-9300
中央薬局	☎0187-63-2800	☎63-2801
ならおか薬局	☎0187-74-2280	☎74-2280
ヒカリ薬局	☎0187-86-5450	☎86-5460
日の出調剤薬局	☎0187-69-2300	☎69-2300
広小路薬局	☎0187-75-2233	☎75-2712
藤井薬局	☎0187-62-2458	☎62-2458
松田薬局	☎018-892-3051	☎892-3480
みずほ薬局	☎0187-63-0350	☎63-0351
薬局すばる	☎0187-65-4141	☎65-4500
やまな薬局	☎0187-86-3330	☎86-3331

仙北市

くりや薬局	☎0187-43-0043	☎43-1143
さくら薬局	☎0187-54-4187	☎54-4187
成田漢方堂薬局	☎0187-43-0010	☎43-1100
西木調剤薬局	☎0187-52-5757	☎52-5888
ひまわり薬局	☎0187-44-3348	☎44-3340
薬局エール角館店	☎0187-52-1211	☎52-1210

仙北郡

清水堂薬局	☎0187-84-0011	☎84-0411
まひる薬局	☎0187-85-4000	☎85-4001
六郷さいた薬局	☎0187-84-2825	☎84-2820



お薬手帳

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保田町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail: info@akiyaku.or.jp
http://www.akiyaku.or.jp

処方せん公文書の有効期限は処方日を含めて4日間です。